

## 注目を集めるS&amp;P500トップ10指数

～「時代の変化を捉えながらの絞り込み投資」が可能に～

## S&amp;P500トップ10指数とは

堅調な推移が続く米国の株価指数ですが、中でも足元で注目を集めているのが、S&P500トップ10指数です。昨年7月に算出が開始されたばかりの同指数は、S&P500指数の構成銘柄のうち、時価総額上位10社の株式で構成されています\*1。その顔ぶれにはグローバルに活躍するビッグテック企業や主要業界のリーダー企業が並んでおり、これら企業の時価総額はS&P500指数の約35%を占めています(2024年5月末現在)。

\*1 1社で複数の銘柄が上場している場合や、スピンオフ(分離・独立)などの理由から、構成銘柄数が10を超えることがあります。

## S&amp;P500トップ10指数の良好なパフォーマンス

米主要株価指数の年間騰落率(左下表)を見ると、近年、S&P500トップ10指数の上昇率が相対的に高く、多くの年でS&P500指数を上回っているのがわかります。例えば2023年には、S&P500指数は+26%と良好なパフォーマンスを示しましたが、S&P500トップ10指数はそれを大きく上回る+62%となりました。つまり、この期間、超大型銘柄が株式相場の上昇を牽引したことになります。

このように、近年、米国の超大型銘柄は堅調な値動きとなっています。時価総額は企業を評価する際の指標の一つで、額が大きいほど企業全体の価値が高いとされます。一般に、時価総額の大きい企業は信用度が高く、経営の安定性に優れ、市場から高い評価を得ていると考えられます。また、右下表のように、成長性や経営効率の面でも競争優位性を示しており、こうした点も市場での評価につながっているとみられます。

## 時代の勝ち組企業を投資対象とする

一方で、少数銘柄への投資は分散投資に比べてリスク(価格変動)が大きくなることから、一般に長期投資には向かないとされています。しかし、

S&P500トップ10指数は銘柄を固定せず、毎年入れ替えを行なうことで、特定のテーマやセクターに縛られることなく、「時代の勝ち組企業」や「勢いのある業種」で指数を再構成しています。このため、同指数への投資により、時代の変化を捉え、見直しを行ないながらの絞り込み投資が可能になると考えられます。

なお、他の株価指数などのインデックスと組み合わせることで、ポートフォリオ全体での分散を図る方法もあります。また、世界の株価指数やS&P500指数など、多くの銘柄に分散されたインデックスファンドと一緒に保有することで、高いリターンが期待される米国の超大型銘柄の比率を高めることができます。このように、ポートフォリオのアクセントとしても活用できるS&P500トップ10指数への投資を検討されてみてはいかがでしょうか。

## S&amp;P500トップ10指数の構成銘柄と各指標

(2024年5月末現在)

	銘柄名	構成比率	
1	マイクロソフト	20.3%	*2 議決権が付与された株式
2	アップル	18.4%	*3 議決権が付与されていない株式
3	エヌビディア	17.8%	*4 2023年8月にジョンソン・エンド・ジョンソンからスピンオフ
4	アマゾン・ドット・コム	10.6%	※ 四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。
5	メタ・プラットフォームズ	6.8%	記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
6	アルファベット(クラスA)*2	6.7%	
7	アルファベット(クラスC)*3	5.6%	
8	パークシャー・ハサウェイ	5.0%	
9	テスラ	3.2%	
10	ユニテッドヘルス・グループ	3.0%	
11	ジョンソン・エンド・ジョンソン	2.3%	
12	ケンピュー*4	0.2%	

	EPS(1株あたり純利益)成長率		ROE*5
	直近実績	今期予想	直近実績
S&P500トップ10指数 構成銘柄の中央値	12.65%	21.04%	28.9%
【参考】S&P500指数	-1.00%	7.31%	17.9%

※予想値は資料作成時点の市場予想 \*5 自己資本利益率

## 米主要株価指数の年間騰落率(米ドルベース)

(2015年～2024年(2024年は5月末まで))

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	全期間
ナスダック 7%	ダウ 16%	ナスダック 30%	トップ10 -1%	トップ10 40%	ナスダック 45%	トップ10 37%	ダウ -7%	トップ10 62%	トップ10 19%	トップ10 395%
トップ10 4%	トップ10 11%	トップ10 28%	ナスダック -3%	ナスダック 37%	トップ10 39%	S&P500 28%	S&P500 -19%	ナスダック 45%	ナスダック 12%	ナスダック 287%
S&P500 1%	S&P500 11%	ダウ 27%	ダウ -4%	S&P500 31%	S&P500 18%	ナスダック 22%	ナスダック -33%	S&P500 26%	S&P500 11%	S&P500 189%
ダウ -1%	ナスダック 9%	S&P500 21%	S&P500 -5%	ダウ 24%	ダウ 9%	ダウ 20%	トップ10 -35%	ダウ 15%	ダウ 3%	ダウ 152%

【使用指数】

トップ10: S&P500トップ10指数、S&P500: S&P500指数、ダウ: ダウ・ジョーンズ工業株価平均(いずれも税引後配当込み)  
ナスダック: ナスダック総合指数(配当込み)

※ S&P500トップ10指数の算出開始日は2023年7月14日です。算出開始日以前のデータは、算出開始日における算出要領に基づき当該指数の開発元が試算した値であり、指数の実際のパフォーマンスではありません。

※ 指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

● 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ● 上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。